

学校評価(共通項目)評価書

朝霞市立朝霞第一小学校

柱	No	評価項目	自己評価	自己評価の説明及び学校の考え	関係者評価	学校関係者評価者の説明
学校の組織運営	1	学校は、学校教育目標達成に向けて、全教職員で組織的に取り組んでいる。	A	三委員会を定例化し、学力向上・生徒指導・体力向上に対して、共通理解、共通行動が図れた。その成果として、学校のチーム力が向上し、職員の意識改革がなされた。	A	先生方は学校教育目標の具現化に向けて、共通認識をもち一丸となって取り組んでいる。
	2	学校は、安全・安心に配慮し、危機管理体制を整えている。	A	危険箇所早期発見・改善を市教委と連携し積極的に行った。また、定期的な安全点検を通じ、児童の安全を確保してきた。さらに不審者対応の研修、予告なしの緊急地震速報訓練等を行い、児童の安全に係る意識を育成してきた。	A	不審者対応訓練、緊急地震速報を用いた避難訓練、朝霞警察署と連携した非行防止教室の実施などの取組は大変良い。しかし、校舎の構造上かもしれませんが誰でも簡単に入れてしまう学校という点は気になる。
基礎学力の定着	3	児童生徒は、教職員の指導により、基礎学力を身に付けている。	A	全国学力学習状況調査や埼玉県学力学習状況調査において成績の伸びが見られた。その要因は、職員による授業形態や教材教具を工夫があげられる。今後は、児童の学力をさらに向上させるため家庭と協力し、児童の学力向上に努めていきたい。	A	基礎的・基本的内容を定着させるため、先生方が努力されていることがよくわかった。廊下に掲示してある児童の作品からもそのことがよくわかった。
	4	学校は、学力向上をめざし、児童生徒の実態に基づいて授業改善に努めている。	A	本校では学力向上委員会が中心となり、本校の課題を分析し、その解決策の検討を図っている。そこでは体験活動・言語活動の充実を図り、ICT機器の効果的な活用法など多岐にわたり指導法の改善が図られた。また、各種研修会へ参加し、新たな指導法を学ぶとともにその指導法を職員で共有できるようにした。	A	授業参観において、先生方がアクティブラーニングを実践していた様子が大変良かった。これからも子ども達同士の学び合いが実践されていくよう指導してほしい。ICT機器の活用を通してわかりやすい授業が実践されている点が大変良い。
規律ある態度の育成	5	児童生徒は、生活のルールに基づき、発達段階に応じた「規律ある態度」を身に付けている。	A	児童は生徒指導委員会が設定した生活目標をしっかりと守るようになってきた。特に挨拶は、小中連携推進事業の「あいさつ運動」や本校児童会の挨拶運動を実施し、よくできるようになった。さらに、PTA校外部のあいさつ運動を通し、あいさつの輪が広がりを見せた。	A	以前に比べ場に応じた挨拶ができる児童が増えてきたように感じる。また一人ひとりの子どもたちのマナーが向上したようにも感じる。先生方の日々の指導がよくわかる。
	6	学校は、児童生徒の実態把握に基づき、規律ある態度の指導の工夫・改善に努めている。	A	規律ある態度の育成について、職員は子どもたちに発達段階にあわせ、場に応じた対応や挨拶などの指導をしている。今後も家庭と学校で協力し合い子どもたちの育成に努めていく。	A	校長先生のリーダーシップのもと、先生方がとてもきめ細やかな指導をしている。集会活動などでの子どもたちの様子は大変きちんとしている。今後も継続して取り組んでいただきたい。
健康・体力向上	7	児童生徒は、体育の授業や運動部活動、外遊び等の運動に意欲的に取り組んでいる。	A	本校児童の体力を上げるため、思考と技能を関連付けた体育の取組を数多く実施した。さらに、校内研修だけでなく、外部の指導者を招へいし、様々な講習会を実施した。今後もあらゆる策を講じ、運動好きな児童の育成に努める。	A	持久走大会や投力向上教室、サッカー教室等、多くの運動の場に子どもたちが頑張っている様子がかがえた。また外部指導者を招へいし、より専門的な視点から子どもたちを指導していただいたおかげで、運動好きな児童が育成されたと受け止めている。
	8	学校は、児童生徒の体力を高めるため、意図的に向上策を講じている。	A	体力向上推進委員会を中心に、重点課題を設定し、授業を改善し、体育授業内での補強運動を取り入れた。職員研修や運動教室を実施するとともに、家庭への啓発とさまざまな視点から策を講じた。これらの取組の結果、新体力テストにおいて男子は12項目、女子は14項目の向上が見られた。	A	保護者として運動が好きな児童や苦手な児童に対しても、その子に応じて対応し、伸ばそうとしている先生の姿勢が素晴らしい。また子ども同士でお互いを伸ばそうと声をかけあっている様子は高く評価できた。
連携	9	学校は、保護者や地域と連携し、その教育力を学力や体力の向上に生かしている。	A	各学期に行う授業参観・懇談会、春の学校公開、夏季休業中の個別面談を実施した。他にも学年・学級通信、電話、連絡帳、面談等、家庭と連絡をとり連携を図ってきた。学校の様子がわかるよう、学校便り等写真を多く取り入れ実態の見える化を図ってきた。その結果、保護者・地域の皆様と協力し合い、子どもたちの育成ができるようになった。	A	学校公開や授業参観などとてもよく実施されている。加えてPTA活動や学校行事などでは、保護者・地域とよく連携し活動していると思う。学校と地域・保護者が連携しみんなで子どもたちを育てようという気概がよく伝わってくる。
	10	保護者や地域は、学校と協力し合い、児童生徒の安全指導・健全育成を推進している。	A	学期ごとに一斉下校を実施し、通学路の安全を確認した。PTA校外部の校区内補導の計画的な実施やなでしこメールでの緊急情報の配信など情報提供や危険防止の活動を推進した。なでしこ応援隊では、地域見回り活動の協力者の募集や通学路の安全確保のための登校指導や下校指導の協力をお願いした。今後も学校と地域で協力し合い子どもたちの安全確保に努める。	A	保護者やPTA役員による朝のあいさつ運動や、郊外パトロールなどよく実施されている。今後も学校と協力して児童の安全を守っていこうと考えている。

注:「自己評価」及び「関係者評価」の欄はA~Dで記入

Aは4点、Bは3点、Cは2点、Dは1点で換算した平均値から、A:3.4以上、B:2.6以上、C:2.0以上、D:2.0未満